



平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年1月10日

上場会社名 ネオス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3627 URL http://www.neoscorp.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 昌史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員企画部長 (氏名) 中野 隆司 TEL (03)5209-1590
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績（平成25年3月1日～平成25年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	5,722	16.1	149	△50.8	164	△49.2	66	—
25年2月期第3四半期	4,927	7.8	303	△28.5	324	△23.4	△23	—

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 72百万円 (—%) 25年2月期第3四半期 △23百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	8.49	8.19
25年2月期第3四半期	△3.02	—

25年2月期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

当社は平成25年7月29日開催の取締役会決議により、平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用致しました。これに伴い、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益又は潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第3四半期	4,109	3,099	74.1	387.23
25年2月期	3,707	2,989	79.5	379.28

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 3,044百万円 25年2月期 2,946百万円

当社は平成25年7月29日開催の取締役会決議により、平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用致しました。これに伴い、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	450.00	450.00
26年2月期	—	0.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	4.50	4.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は平成25年7月29日開催の取締役会決議により、平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用致しました。そのため、平成26年2月期(予想)の年間配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 平成26年2月期の連結業績予想（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,300	10.4	191	△39.9	206	△43.6	85	—	10.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

当社では、激変する携帯電話業界の構造変化に柔軟に対応するため、グループ経営の強化に取り組んでおります。また、現在、携帯電話業界は、非常に速いスピードで構造変化が進行しつつあり、短期的な業績動向については変動要素が多いため、当社では、年間ベースでの業績管理に重点を置いた経営管理を強化しています。これらを踏まえ、現在、当社のグループの業績予想については、連結業績に関する年間業績の開示のみとしております。

当社は平成25年7月29日開催の取締役会決議により、平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用致しました。これに伴い、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年2月期3Q	7,862,100株	25年2月期	7,768,800株
② 期末自己株式数	26年2月期3Q	一株	25年2月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年2月期3Q	7,812,012株	25年2月期3Q	7,762,942株

当社は平成25年7月29日開催の取締役会決議により、平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用致しました。

これに伴い、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績等は、業況等の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)における日本経済は、大企業を中心とした企業収益の改善、個人消費の持ち直し等により、ゆるやかな回復がみられ、11月には東京株式市場で日経平均株価が1万5千円台を記録する等、景気浮揚の観測が強まりつつあります。

携帯電話市場においては、スマートフォンの普及率が5割に迫る勢いで、完全にマジョリティ層への浸透段階に移行しつつあります。9月には、AppleからiPhoneの新機種iPhone5s、5cが発売され、NTTドコモが新規に取り扱いを開始しました。これにより、ソフトバンク、KDDIとともに、3キャリアが同様の製品を販売することになり、通信キャリアの差別化は、益々、ユーザー向けサービスの強化が焦点になってくるものと思われます。また、各キャリアサービスに加え、スマートフォンならではの、オープン環境を前提とした新しいサービス、コンテンツが次々と出てきており、「LINE」や「パズル&ドラゴンズ」など膨大なユーザーを獲得するものも出現してきております。

このような状況の中で、当社グループでは、法人におけるスマートフォンのマーケティング活用や業務活用に向けたプロダクト&サービス展開の強化(「Passbook」対応サービス『neoPass』や「クラウドアドレス帳サービス」の展開)、新規コンテンツジャンル開拓の推進(スタンプコンテンツやキッズコンテンツの展開)、新しいキャリア向けライセンス事業への取り組み(着信アプリ『キャラコールエンジン』のライセンス提供)など、スマートフォン向けの新しい事業展開を積極的に推進しております。また、iPhone取扱い3キャリアへの拡大に対応し、iPhone向けソリューションの拡充、キャラクターやヘルスケア等の自社サービスのiPhone拡張等、iPhone事業の強化にも積極的に取り組んでおります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,722,044千円(前年同期比16.1%増)となりました。

なお、利益につきましては、ソリューション事業において、当第3四半期に大型の不採算プロジェクトが発生したため、売上計上された当該プロジェクトについて損失等を計上するとともに、今後見込まれる損失も工事損失引当金として、併せて計上いたしました。この影響により、第3四半期連結累計期間の営業利益は149,558千円(前年同期比50.8%減)、経常利益は164,579千円(前年同期比49.3%減)、純利益は66,384千円(前年同期は23,443千円の純損失)となりました。

事業別の動向については、以下のとおりです。

<ソリューション事業>

当第3四半期連結累計期間におけるソリューション事業の売上高は3,359,990千円(前年同期比16.1%増)となりました。

ソリューション事業においては、NTTドコモが提供しているスマートフォン向け写真保存、写真整理、写真共有サービス「フォトコレクション」のiPhone向けサービスの開発を支援するなど、キャリアのiPhone向けサービスに積極的にソリューション展開をしております。また、スマートフォンの新しいOS「Tizen」については、「Tizen」の普及と発展に寄与するため、「Tizen Association」にパートナー企業として加盟するなど、引き続き積極的に展開しております。法人向けソリューションにおいても、引き続きスマートフォン、タブレットの普及、需要に対応したソリューションの推進を図っております。

<プロダクト&サービス事業>

当第3四半期連結累計期間におけるプロダクト&サービス事業の売上高は2,362,054千円(前年同期比16.2%増)となりました。

プロダクト&サービス事業においては、キャラクターサービス『カスタモ』やヘルスケアサービス『Karada Manager』をNTTドコモのiPhone展開に対応するなど、iPhone向けサービスへの拡張を積極的に展開しております。また、着信時に人気キャラクターやリッチな映像、着信音などが楽しめる『キャラコール』やNTTドコモの子育て家族向け知育サービス「dキッズ」など、今までになかった新たなプラットフォームやコンテンツ提供への取り組みを強化しております。さらに、クラウドを活用してアドレスを共有できる『SMARTアドレス帳』やクーポン、チケット、会員証など幅広い用途で利用できる「Passbook」対応サービス『neoPass』など、スマートフォンを法人におけるマーケティングや業務等、リアルなシーンで活用するためのプロダクト&サービスにも新たに取り組んでおります。

※記載されている社名、製品名、ブランド名、サービス名等は、すべて各社の商標または登録商標です。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産の部の合計は4,109,394千円(前連結会計年度末は3,707,031千円)と、前連

結会計年度末に比べ402,363千円増加いたしました。当第3四半期連結累計期間の主な増減内容は以下のとおりであります。

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ363,862千円増加し、2,907,473千円となりました。これは主に現金及び預金の増加によるものです。

固定資産につきましては、有形固定資産が14,012千円、投資その他の資産が8,193千円減少したものの、無形固定資産が60,705千円増加したことにより、前連結会計年度末に比べ38,500千円増加し、1,201,920千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債の部の合計は1,009,818千円（前連結会計年度末は717,988千円）と、前連結会計年度末に比べ291,830千円増加いたしました。これは主に未払法人税等の増加と、工事損失引当金の計上によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産の部の合計は3,099,576千円（前連結会計年度末は2,989,043千円）と、前連結会計年度末に比べ110,533千円増加いたしました。これは主に資本金及び資本剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の業績予想につきましては、平成26年1月10日付「業績予想の修正及び工事損失引当金の計上に関するお知らせ」において公表しましたとおり、平成25年4月9日付公表の通期の業績予想を修正いたしました。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況等の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、新たに設立したネマステックジャパン株式会社を連結の範囲に含めております。

また、第2四半期連結会計期間より、株式会社カメラシステムは当社を存続会社とする吸収合併を行ったため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,033,298	1,594,625
受取手形及び売掛金	1,022,552	930,239
仕掛品	103,458	45,138
その他	384,301	347,596
貸倒引当金	—	△10,126
流動資産合計	2,543,611	2,907,473
固定資産		
有形固定資産	163,297	149,285
無形固定資産		
のれん	135,052	100,100
ソフトウェア	339,802	373,139
その他	59,830	122,149
無形固定資産合計	534,685	595,390
投資その他の資産		
その他	468,949	488,056
貸倒引当金	△3,512	△30,812
投資その他の資産合計	465,437	457,244
固定資産合計	1,163,420	1,201,920
資産合計	3,707,031	4,109,394
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	280,438	259,719
未払法人税等	2,332	75,712
賞与引当金	196,828	221,394
ポイント引当金	5,796	5,202
工事損失引当金	—	95,680
その他	195,339	314,001
流動負債合計	680,735	971,710
固定負債		
資産除去債務	37,253	38,107
固定負債合計	37,253	38,107
負債合計	717,988	1,009,818

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	950,148	978,931
資本剰余金	940,148	968,931
利益剰余金	1,056,280	1,087,705
株主資本合計	2,946,577	3,035,568
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6	8,879
その他の包括利益累計額合計	△6	8,879
新株予約権	39,702	52,782
少数株主持分	2,769	2,345
純資産合計	2,989,043	3,099,576
負債純資産合計	3,707,031	4,109,394

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	4,927,020	5,722,044
売上原価	3,443,206	4,136,016
売上総利益	1,483,813	1,586,028
販売費及び一般管理費	1,179,897	1,436,469
営業利益	303,916	149,558
営業外収益		
為替差益	6,695	12,648
その他	14,616	8,608
営業外収益合計	21,312	21,256
営業外費用		
新株予約権発行費	782	5,167
その他	152	1,068
営業外費用合計	934	6,235
経常利益	324,294	164,579
特別損失		
投資有価証券評価損	2,999	—
減損損失	347,727	—
持分変動損失	15,341	—
合併関連費用	15,145	—
特別損失合計	381,214	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△56,920	164,579
法人税、住民税及び事業税	60,691	86,353
法人税等調整額	△95,346	14,396
法人税等合計	△34,655	100,749
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△22,265	63,829
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,178	△2,554
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23,443	66,384

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△22,265	63,829
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,338	8,886
その他の包括利益合計	△1,338	8,886
四半期包括利益	△23,604	72,716
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△24,782	75,270
少数株主に係る四半期包括利益	1,178	△2,554

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年11月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

当社グループは、情報サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 重要な後発事象

当第3四半期連結会計期間終了後、平成26年1月9日までの間に第18回新株予約権(第三者割当て)の権利行使があり、その概要は以下のとおりであります。

(1) 新株予約権の名称	第18回新株予約権(第三者割当て)
(2) 発行株式の種類及び株式数	普通株式 220,000株
(3) 増加した資本金	151,950千円
(4) 増加した資本準備金	151,950千円